

第50回特別展

倉橋英男・片岡銀蔵・坂田一男

井原ゆかりの洋画家たち



- ① 片岡銀蔵《嵐山より矢掛の町を眺む》昭和21年(1946) 矢掛町蔵
- ② 佐藤一章《女の像》昭和2年(1927) やかげ郷土美術館蔵
- ③ 倉橋英男《裸婦》(部分) 昭和5年(1930) 個人蔵
- ④ 坂田一男《サイネリア》制作年不詳 個人蔵

令和元年

10月26日(土)

▶ 12月8日(日)

- 休館日：月・木曜日
(ただし11月4日は開館、翌日休館)
- 開催時間：9時～17時
- 入館料：無料

井原市芳井歴史民俗資料館

〒714-2111 岡山県井原市芳井町吉井4110-1 TEL 0866-72-1324
井原市ホームページ <http://www.city.ibara.okayama.jp/>

井原ゆかりの洋画家たち

～ 倉橋英男・片岡銀蔵・坂田一男～

井原地方では大正時代末より洋画家の活動が見られるようになります。アマチュア洋画家が集まり^{ありゆしや}亜柳社を結成、大正15年10月には第1回洋画展を開催しました。昭和7年には倉橋英男が第1回個展を開催しました。ついで、同22年頃から片岡銀蔵が井原に滞在し、その頃有志で結成された後月洋画研究会の指導にあたりました。同24年には岡山県美育振興会・同後月支部が結成、同30年に井原市を中心として美術愛好家によりノアール会が結成され、洋画家の活動はますます活発になりました。

このたびは、井原で洋画の指導を行った倉橋英男、片岡銀蔵や、井原ゆかりの坂田一男、亜柳社の展覧会に出品した佐藤一章の作品を中心に、井原で活動したアマチュアの洋画家の作品を取り上げ、井原の洋画の流れをご紹介します。



- ① 杉原正一郎《風景》
制作年不詳 個人蔵
- ② 坂田一男《風景》
川端画学校時代(大正5年頃) 個人蔵
- ③ 坂田一男《コンポジション》
制作年不詳 妙昭寺蔵
- ④ 藤原右一《風景》
昭和41年(1966) 美星図書館蔵



■交通案内 (井原線/井原駅から)

- 車・タクシー：10分
- バス：井原バスセンターより北振バス芳井方面
15分、芳井支所下車 徒歩10分
- 自動車：山陽自動車道笠岡ICより県道34号線を
35分



井原市ホームページ <http://www.city.ibara.okayama.jp/>

井原市芳井歴史民俗資料館

〒714-2111 岡山県井原市芳井町吉井4110-1 TEL 0866-72-1324